

報道資料



令和3年10月20日

ワーケーション体験プランのファムツアーの日程が決定しました。

～ 第2報 ～

令和3年9月1日の市長定例記者会見にてお知らせしておりました標記ファムツアーの日程が決定しました。

また、本ツアーの中で、堀江市長と参加者等による「ワーケーション」をテーマとしたパネルディスカッション（島サミット）を開催しますので、お知らせします。

1 日程

令和3年10月25日（月）～29日（金）

2 参加者

東京等の都市圏に本社がある雑誌等の出版社やWEB記事編集者等 6名

3 ファムツアーの内容

湯島・維和島・前島エリアにおいて、上天草市の特色ある暮らし、食・観光・アクティビティ等を組み合わせた体験プラン（詳細な行程は別添1のとおり）。

4 島サミットの概要

別添2のとおり



（連絡先）

企画政策部企画政策課

担当：課長 岡元、参事 泉田

電話：0964-26-5539

FAX：0964-56-4972

上天草市ファムツアースケジュール

10月25日(月曜)

12:15	羽田発 → 熊本行
14:30	熊本空港到着
	担当者がお迎えに参ります。車で上天草市へ移動(車で約2時間)
16:30	上天草市到着 * 宿泊先(ホテルAZ)へ移動
17:00	宿泊先(ホテルAZ)到着
18:00	宿泊先(ホテルAZ)にてファムツアースケジュールの確認
	夕食場所(市内飲食店)まで車で移動(約20分)
19:00	夕食(地鶏「天草大王」)
21:00	宿泊先(ホテルAZ)へ移動(車で約30分)

10月26日(火曜)＜維和島＞

6:00	宿泊先(ホテルAZ)へ移動出発(車で約20分) * 朝食は船でお渡しいたします
6:30	民宿 釣耕苑から魚釣りへ出港(釣り竿などご用意しております)
	ご当地食材を使ったおにぎりの朝食
11:30	帰港
12:30	昼食 民宿 釣耕苑にて郷土料理「鯛そうめん」
13:40	蔵々窯(陶芸体験)へ車で移動(約10分)
	宿泊先(ホテルAZ)へ移動へ戻られる方は、その後ホテルへ移動(約20分)
17:30	宿泊先(ホテルAZ)へ移動出発
	交流会・夕食場所(民宿 釣耕苑)へ車で移動(蔵々窯経由約30分)
18:00	交流会・夕食(郷土料理)
20:00	宿泊先(ホテルAZ)へ移動へ移動(車で約20分)

10月27日(水曜)＜湯島＞

	宿泊先(ホテルAZ)へ移動にて朝食
9:30	ホテル出発(車で約10分)
10:00	江樋戸港より湯島へ(船で約30分)

	* イルカウォッチングへ乗船されない方はリゾラテラス天草にてフリータイム
12:00	帰港
12:15	昼食(リゾラテラス天草にて天草魚介のパエリア)
14:00	熊本空港へ移動(車で約2時間)
16:00	熊本空港到着
17:25	熊本発 → 羽田行

島サミット概要書

日 時：10月28日 17時～18時30分

場 所：リゾラテラス天草

ファシリテーター：株式会社N Plus 中村 祐介氏

パネラー：上天草市長 堀江 隆臣氏

Bizer株式会社 畠山 友一氏

東京からのUターン 山下 慶子氏

タイムテーブル

- 17:00 【ファシリテーターのご紹介】 中村様
- 17:10 【大手原地区におけるワーケーション施設の概要説明】 藤川
- 17:20 【パネラーのご紹介とキーワードセッション】
- ファシリテーターから現状のワーケーション市場についての説明とパネラーの紹介とパネラーによるコメント
 - 山下氏に上天草の魅力、上天草で出来るワーケーションイメージについてをヒヤリング
 - 堀江市長に行政として上天草の魅力・受け入れスタンスについてヒヤリング
 - キーワードセッション
 - ・ワーケーションの課題について
 - ・今後のBtoB市場（ワーケーション市場）について
 - ・行政の取り組みについての要望（畠山氏+山下氏から市長へ）
 - ワーケーションについての新しい取り組みの具現化
 - ・畠山氏からみた要望
 - ・山下氏からみた要望
 - ・上天草市からみた今後の地域づくり
- 18:20 【質疑応答】
- 18:30 【島サミット終了】

ファシリテーター及びパネラーのプロフィール

【ファシリテーター】中村 祐介

株式会社N Plus 代表取締役

人や社会課題を見つける洞察力とDXなどテクノロジーに関する知見を生かし、ビジネス・マーケティング戦略策定、企画・コンテンツ制作、Web/アプリ制作、広告運用までCX・UX観点をもとに一貫して行います。代表は日経BP社の記者職・コンサルタント職出身。共著書に「ニューノーマル時代のビジネス革命」(日経BP社)などがあるほか、食生活ジャーナリストの会、日本旅行記者クラブにも所属し、食と観光を交えたおにぎり協会という団体を設立、情報発信の成果としてミラノ国際博覧会日本館サポーターとして参画。NHK「あさイチ」やTBS「マツコの知らない世界」などにも多数出演。情報発信の実績を数多く持つ。

【パネラー】畠山 友一

1978年東京都出身。2001年富士通アドバンストエンジニアリング入社。2004年に株式会社リクルートに転職し、FNX（FAX一斉同報サービス）を中心に営業を担当し8千社あまりの法人へ提供する過程で、中小企業が自社の本業に集中できる環境を作るため、業務効率化、マーケティング支援の業務に従事。2011年グリー株式会社入社。グリーアドバタイジング株式会社の代表取締役を経て、2013年10月に独立。株式会社ビズグラウンド（現・Bizer株式会社）を設立し、代表取締役社長に就任。自身が小規模事業者として苦労したことや工夫したことなどをサービス化した「Bizer」を2014年5月にリリース。

【パネラー】山下 慶子

大学卒業後はすぐに就職せずに、若いうちに視野を広げたいという理由で、友人の娘が通っているという理由で親が薦めてくれた中国へ語学留学する。帰国したのは就職氷河期真っ只中だったこともあり、新卒でもなく、職歴もないために就職口は一切なかった。そのため、当時やっとダイヤル回線でつながりだしたインターネットで就職先を探すことにした。大学では心理学を専攻していたので、『心理学』や『中国語』のキーワードでヒットする職種を探し、たまたま見つけたH.I.S.の中途採用にエントリーして内定をもらい、契約社員として社会人キャリアを始めることになった。深夜まで仕事をした後、朝4時まで絵を描いて、9時にそのまま出社する生活を1ヵ月程続けたあと、絵を描いて生きていきたいと考え、エイチ・アイ・エスを退社した。派遣社員を続けて勤めた2つの会社からは正社員の打診を受けたがいずれも断り、2年間絵を描き続けたがコンペに応募しても通らなかったため、再び就職活動をした。大手企業数社から内定を得たが、一旦人生をリセットしたいということで内定を辞退し、派遣会社で短期の仕事を紹介してもらい、ポーラ・オルビス ホールディングスへ派遣される。その後、派遣社員から正社員への登用がされるが、当時の大手企業で派遣社員から正社員への登用は極めて異例だった。入社11年目には代表取締役社長と、異例の出世街道を歩んできた。